

令和2年度 物理工学科2～4回生ガイダンス資料

- 1 諸注意
- 2 学生のみなさんへ
- 3 物理系校舎配置図
- 4 令和2年度学科長・クラス担任等一覧表
- 5 工学部授業日程
- 6 専門科目の履修登録について（令和2年度前期）
- 7 配当専門科目一覧（令和2年度前・後期）
- 8 配当科目変更表
- 9 情報セキュリティ対策のお願い
- 10 コンピュータソフトウェアの適正な利用について
- 11 工学部保健室

配布資料

（2回生）

- 1 コース別配布資料（コースにより異なる）

（3回生）

- 1 コース別配布資料（コースにより異なる）
- 2 安全の手引き

（4回生）

- 1 コース別配布資料（コースにより異なる）
- 2 卒業論文作成へ向けて

諸注意（2～4回生用）

理工学学科

（Ⅰ）履修に関する事

1. 卒業要件等について

卒業要件・科目配当表等は入学年により異なるので、各自、入学年度の履修要覧にて確認すること。

2. 履修登録について

履修登録のない科目は試験を受けても単位は認定されない。全学共通科目、工学部専門科目ともに、KULASISでの履修登録期間、履修登録確認期間に十分注意し、履修する科目については、必ず正しく各自がKULASISより登録しておくこと。

3. 特別研究の履修について

研究室に配属され、特別研究を履修予定の者は、KULASISの履修登録画面で候補科目として表示されていることを確認の上、必ず履修登録を確定しておくこと。履修予定にもかかわらず表示されていない場合は、理工学学科事務室まで申し出ること。

4. 理工学総論A・Bについて

コース配属後の2回生以上で履修し、単位を修得しても卒業に必要な単位とはならないので注意すること。

5. クラス分けについて

クラス分けのある科目については、「理工学学科配当科目一覧」の指示に従って受講すること。クラスの変更を希望する場合は、担当教員に申し出ること。

6. 日本語・英語(E2科目)の両方で開講される全学共通科目について

日本語・英語(E2科目)の両方で開講される全学共通科目をどちらも修得した場合の単位認定の取り扱いについては、理工学学科では先に修得した科目のみを卒業に必要な単位として認定します。同学期に修得した場合は、成績の良い方を卒業に必要な単位として認定します。

7. 履修についての問い合わせ先

工学部専門科目については、理工学学科事務室（物理系校舎1階）

全学共通科目については、全学共通科目学生窓口（国際高等教育院棟1階）

「全学共通科目履修の手引き」

<http://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/zenkyo/guidance>

（Ⅱ）試験に関する事

1. 不正行為をしないこと

受験（全学共通科目および他学部科目を含む）に際して不正行為があった場合は、当該学期の全試験科目（全学共通科目および他学部科目を含む）の受験を無効とする。また、レポート試験にも準用する。（工学部試験内規16条第1項、第2項）

不正行為と疑わしき行為は本人の意図とは無関係に不正行為とみなすので、誤解を招きかねない行動は避けること。

2. 試験中は学生証を机上に提示すること。

3. 試験中はスマートフォン等の電源を切り、カバンに入れておくこと。

(Ⅲ) 一般的事項

1. 住所等の変更手続きについて

住所、電話番号、携帯電話番号、メールアドレス、保護者等住所、緊急連絡先、授業料の振込依頼書の送付先などに変更があった場合は、速やかに KULASIS より変更の手続きを行うこと。

2. 学生への通知及び連絡方法について

各種連絡事項は全て掲示にて周知するので、掲示および KULASIS による連絡事項は毎日確認すること

原則として電話による問い合わせには対応を行わない。

KULASIS「お知らせ」－休講・補講・レポート・呼び出し・教務情報 等

・工学部・物理工学科からのお知らせ〔KULASIS－お知らせ－学部－工学部〕

・全学共通科目のお知らせ〔KULASIS－お知らせ－全学共通科目〕

KULASIS「共通掲示板」－授業料免除・奨学金・就職・留学・教職 等

3. 提出物について

各種提出物の締め切りは厳守すること。

提出物は原則としてレポート BOX（物理系校舎 1 階、北側ロビー）に提出すること。

提出の際は、BOX の題名、担当教員等を確認し、間違いのないよう提出すること。

不明な場合は、必ず窓口で確認してから入れること。

レポートには最初に科目名、担当教員名、学生証番号、氏名を必ず記載すること

レポート BOX 受付時間：8：30～17：00（受付時間以外は施錠するため、提出できない。）

4. 定期健康診断について

定期健康診断は、掲示又は KULASIS、健康科学センターWEB サイト等にて日程を確認し、必ず受診すること。

5. 海外渡航の際の手続きについて

海外渡航（留学生の帰国も含む）する場合は、渡航前に物理工学科事務室まで「海外渡航届」を提出すること。
安全確保のため海外旅行保険に加入しておくこと。

6. 駐輪場について

- * 自転車・バイクは、歩行者安全・避難経路確保のため駐輪場へ置くこと
- * オートバイで入構できる門 正門 裏門 北門
- * オートバイ走行禁止境界線 境界線の内側、すべての走行を禁止
- * オートバイ専用駐輪場 正門・裏門・北門付近に設置



【物理工学科の各種手続き・問い合わせ先】

物理工学科事務室（物理系校舎 1 階・受付時間 8：30～12：15 13：00～17：00

レポート BOX 受付時間 8：30～17：00）

学生のみなさんへ

令和 2年 4月
工学部・工学研究科

皆さんが健康で安全な生活を送ることは、学習や研究をする上で大切なことです。しかしながら、近頃、京都大学では学生が関係した事件・事故等が多く見受けられます。とりわけ危険ドラッグ等の禁止薬物の乱用は本人だけでなく、社会全体に計り知れない害悪をもたらすことを十分認識し、薬物乱用の甘い誘いに気を付けるとともに、誘われても絶対に断る勇気を持つこと、また、日常の様々な行動の中で、人権の尊重や法令遵守の重要性を自覚し、良識ある行動をとるようにすることが重要です。

また、工学部・工学研究科においても、以下のような事案(①～⑧)が発生しています。特に飲酒が関係した事故、学生をねらった詐欺事件、自転車・バイクによる交通事故などです。

このようなことが起こると勉学に支障が出たり、最悪中断せざるを得ない事態になります。当然のことですが、加害者となった場合、社会のルールに従って責任を負わねばなりません。自らの行動に責任を持つという自覚が必要です。

万一、事故や被害にあったときは、必ずご家族の方に連絡をするとともに、工学部・工学研究科に相談してください。工学部・工学研究科では、アドバイスやサポートを行っていますので、一人で悩まず、「学生相談室」、「指導教員」あるいは「事務室」に相談を持ちかけてください。

【飲酒が関係したもの】

- ①飲酒により酩酊状態になり警察に保護された。また、急性アルコール中毒で救急搬送された。
- ②インターネット上のブログで飲酒運転を告白、外部から通報があった。
- ③11月祭の打ち上げ後のトラブルで傷害事件を起こした。

新入生歓迎の行事やコンパなどの飲酒の機会が多いですが、「イッキ飲み」等危険な飲酒は絶対にしない、コンパなどでは無理に他人にすすめたり、先輩のすすめだからといって安易に飲まないようにしてください。また、京都大学では飲酒に関するわいせつ事件も報告されています。『飲酒は20歳を過ぎてから。』

【学生をねらった詐欺事件】

- ④学生ローンを利用した詐欺事件……会社を設立するための出資を持ちかけられ、返済は会社がするから心配しなくてもよいとして紹介された学生ローン会社で多額の金を借り、その報酬として謝礼を受け取った。その後、相手は持ち逃げし、学生本人にローンの返済請求が来るようになった。
- ⑤振り込め詐欺……交通事故を装って、学生の実家から多額の金を振り込ませた。

学生をねらった詐欺は、巧妙な手口で勧誘し、学生の経験の少なさなどにつけ込み、「楽しんで儲かる」といった気持ちを起こさせます。『うまい話に要注意!』

また、「振り込め詐欺」は、ご両親や身内の方が子供・お孫さんを心配する心の隙に入り込み、多額の金を振り込ませるやり方です。不審な電話があれば、ご家族の方と必ず連絡を取り合い確認するようにしてください。

【交通事故】

- ⑥自転車・バイクの事故……学生が運転する自転車、バイク事故が多発しています。無謀な走行が見受けられ、他の部局では無保険のバイクで加害者になり補償が重荷になるケースも出ています。自賠責や任意保険に加入し交通法令と走行マナーを遵守してください。特に自転車の交通マナーについては毎年地域住民の方から苦情が多数寄せられています。京都大学は公道を挟んでキャンパスが存在しており、一部は小学生の通学路となっていますので、公道を通る際はマナーに気を付けて走行してください。(スマホ、イヤホンを使用時の自転車の運転は5万円以下の罰金が科せられます。)

(■平成27年より大学正門前の東一条通の歩道上は自転車通行が禁止されました。自転車は車道の左側を走行してください。)

【SNS を利用したトラブル】

⑦ツイッター上で安易に個人を中傷するような書き込みを行う行為は、関係者の間でトラブルになっています。利用マナーを考えてください。

【サークル活動中の事故】

⑧サークル活動中に重傷事故も発生しています。また、近年では夏場に熱中症で倒れ、救急車で搬送されるケースが増えています。運動をする際には体調管理にも十分注意してください。

◇学生教育研究災害傷害保険（学研災）・学研災付帯賠償責任保険（学研賠）への加入のすすめ

学研災・学研賠は、学生の教育・研究活動中、課外活動中、通学中の事故により被った傷害に適用されます。保険料も低額に設定されていますので、大学では原則として入学時に学研災・学研賠に**全員が加入**することとなっています。**未加入の場合、実験等履修できない科目があります。**（入学予定者サイト等からまだ加入されていない場合も、KULASIS からの加入が可能です。）

◇「学生相談室」のご案内

工学部・工学研究科では、学生の皆さんの様々な相談を受けるために「学生相談室」を設置しています。

京都大学工学部・大学院工学研究科ホームページ [トップ](#)>在学生・卒業生>各種手続 □学生相談室

(<http://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/f-procedures/consultation/index.html>)

授業や研究に関すること、人間関係や生活に関することなど、何でも結構ですので、気軽に相談してください。相談の際には相談者のプライバシーを保護し、守秘すべき事項については秘密保持に万全を期します。特に、学科・専攻の先生方に直接かかわる件の場合には、必ず他の学科・専攻の先生に対応していただき、相談に来たことによって万が一にも不利益をうけることがないように配慮していますので安心してください。

詳細は工学部・工学研究科ホームページに掲載しています。

◇「保健室」のご案内

「漠然とした不安がある」「なんとなくやる気が出ない」「よくわからないけど、調子が悪い」といった、ちょっとした悩みや、不安・不調を感じた時に、気軽に相談ができる保健室を開室しています。保健室には養護教諭資格を持った専門スタッフが常駐しており、相談に応じる他、必要に応じて、学内外の専門窓口との橋渡しをいたします。

◇全学的な相談機関（吉田・桂・宇治の各キャンパスに設置しています）

(1) 学生総合支援センター カウンセリングルーム

修学上あるいは学生生活上の悩み、さまざまな人間関係の悩みなど、どのような悩みや苦しみについての相談にも、学生相談、心理相談の専門スタッフが応じています。秘密は絶対に守られますので、安心して利用してください。

(2) 健康科学センター

各科の専門医が、傷病診療と心身の健康相談を行っています。

(3) 学生総合支援センター キャリアサポートルーム

就職に関する資料や情報を提供しているほか、就職ガイダンス、企業ガイダンス、国家公務員各府省業務説明会等を開催して、就職活動を支援しています。

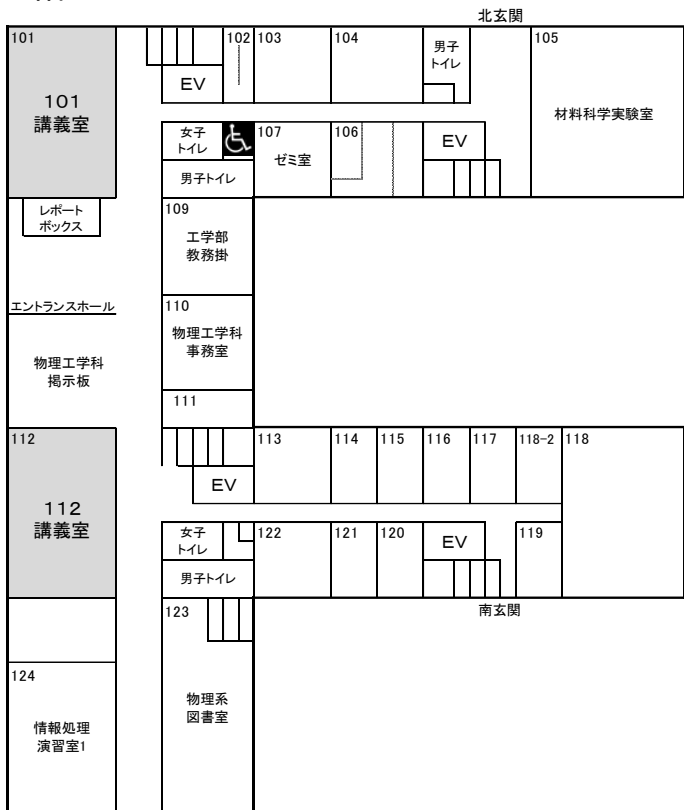
また、就職相談室を設けて就職活動における悩みや不安などについてのアドバイスも行っていますので、気軽に来室して利用してください。

◇その他

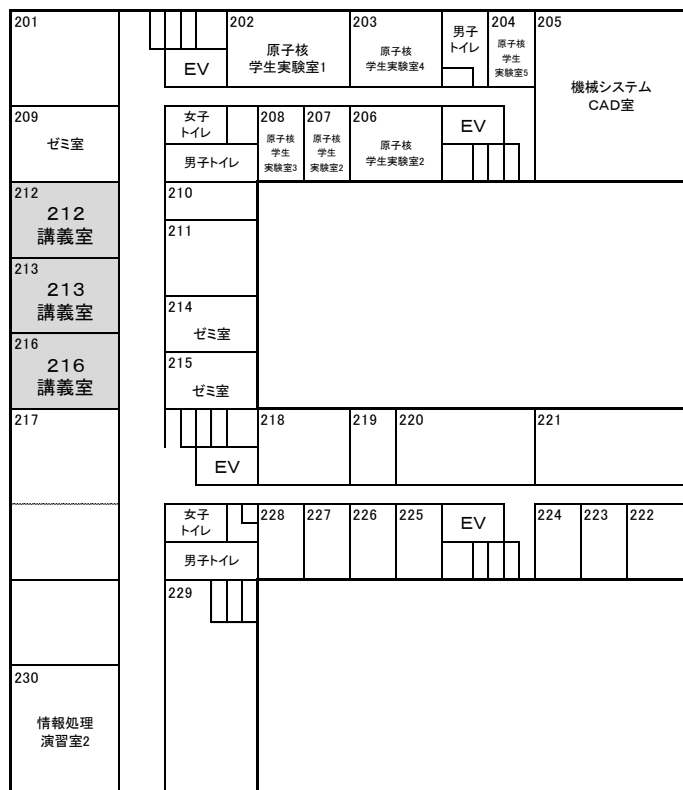
「Campus Life Information」（教育推進・学生支援部発行）を参照してください。

物理系校舎配置図

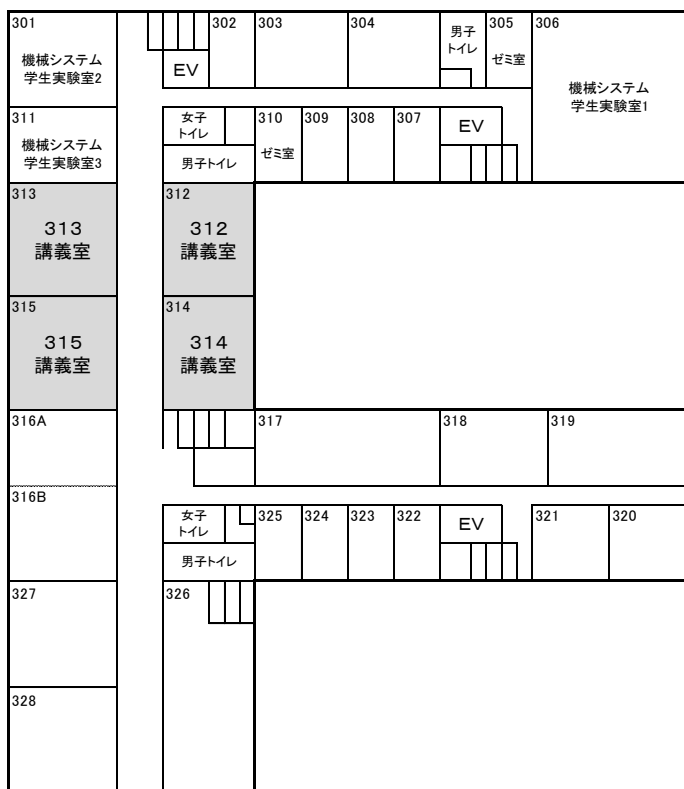
1階



2階



3階



4階北棟



5階北棟



令和2年度 学科長・クラス担任・コース長 一覧表

学 科 長	石山 拓二 教授 075-753-4729 総合研究12号館232 ishiyama.takuji.8e@kyoto-u.ac.jp
-------	---

ク ラ ス 担 任

令和2年度入学者(1回生)					
7組	8組	9組	10組	11組	12組
西脇 眞二 教授 075-383-3598 桂C3棟b2S07室 shinji@prec.kyoto-u.ac.jp	黒瀬 良一 教授 075-383-3654 桂C3棟b4S10室 kurose@mech.kyoto-u.ac.jp	辻 伸泰 教授 075-753-5462 物理系校舎828室 tsuji@mtl.kyoto-u.ac.jp	今谷 勝次 教授 075-753-4915 総合研究12号館 230 imatani.shoji.5c@kyoto-u.ac.jp	高木 郁二 教授 075-383-3915 桂C3棟d2S12 takagi@nucleng.kyoto-u.ac.jp	高田 滋 教授 075-383-3780 桂C3棟c3S04室 takata.shigeru.4a@kyoto-u.ac.jp

コ ー ス 長

機械システム学コース	材料科学コース	エネルギー応用工学コース	原子核工学コース	宇宙基礎工学コース
西脇 眞二 教授 075-383-3598 桂C3棟b2S07室 shinji@prec.kyoto-u.ac.jp	中村 裕之 教授 075-753-5440 物理系校舎323室 nakamura.hiroyuki.2w@kyoto-u.ac.jp	今谷 勝次 教授 075-753-4915 総合研究12号館 230 imatani.shoji.5c@kyoto-u.ac.jp	高木 郁二 教授 075-383-3915 桂C3棟d2S12 takagi@nucleng.kyoto-u.ac.jp	高田 滋 教授 075-383-3780 桂C3棟c3S04室 takata.shigeru.4a@kyoto-u.ac.jp

相 談 窓 口

1 回 生	クラス担任および学科長
2回生・3回生	コース長および学科長
4 回 生	研究室未配属時は、コース長および学科長 研究室配属後は、指導教員および学科長

令和2年度工学部授業日程

【 前 期 】		【 後 期 】	
4月1日(水)	前期始業日	10月1日(木)	後期始業日
4月7日(火)	入学式	10月1日(木)～1月25日(月)	後期授業期間
4月8日(水)～7月22日(水)	前期授業期間	11月19日(木)、20日(金)	11月祭に伴う授業休止 (清掃日含む)
6月18日(木)	創立記念日	1月15日(金)	授業休止 (大学入学共通テスト前日)
7月23日(木)～8月5日(水)	前期試験・フィードバック期間	1月26日(火)～2月8日(月)	後期試験・フィードバック期間
		3月24日(水)	卒業式
9月30日(水)	前期終業日	3月31日(水)	後期終業日

◎補講等を実施する場合は、各学科において掲示等により周知します。

令和2年度 授業日カレンダー

■前期・後期とも、各曜日14回の授業日と2週の試験・フィードバック期間を設けています。(日付横の○数字は、累計の授業回数)

- 月曜日の授業
 - 火曜日の授業
 - 水曜日の授業
 - 木曜日の授業
 - 金曜日の授業
 - 試験・フィードバック期間
- ・フィードバックの実施時期は、「試験・フィードバック期間」内に限定されるものではありません。授業担当教員の指示に従ってください。
- 通則に定める休業日(土・日・祝日、6/18創立記念日、夏季休業、冬季休業)
 - 休講等による補講日

【前期】 4月							5月							6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4						1 ④	2		1 ⑦	2 ⑦	3 ⑦	4 ⑨	5 ⑨	6
5	6	7 入学式	8 ①	9 ①	10 ①	11	3	4	5	6	7 ⑤	8 ⑤	9	7	8 ⑧	9 ⑧	10 ⑧	11 ⑩	12 ⑩	13
12	13 ①	14 ①	15 ②	16 ②	17 ②	18	10	11 ④	12 ④	13 ④	14 ⑥	15 ⑥	16	14	15 ⑨	16 ⑨	17 ⑨	18	19 ⑪	20
19	20 ②	21 ②	22 ③	23 ③	24 ③	25	17	18 ⑤	19 ⑤	20 ⑤	21 ⑦	22 ⑦	23	21	22 ⑩	23 ⑩	24 ⑩	25 ⑪	26 ⑫	27
26	27 ③	28 ③	29	30 ④			24	25 ⑥	26 ⑥	27 ⑥	28 ⑧	29 ⑧	30	28	29 ⑪	30 ⑪				
							31													
7月							8月							9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1 ⑪	2 ⑫	3 ⑬	4							1			1	2	3	4	5
5	6 ⑫	7 ⑫	8 ⑫	9 ⑬	10	11	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
12	13 ⑬	14 ⑬	15 ⑬	16 ⑭	17 ⑭	18	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
19	20 ⑭	21 ⑭	22 ⑭	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30			
							30	31												
【後期】 10月							11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1 ①	2 ①	3	1	2 ⑤	3	4 ⑤	5 ⑥	6 ⑥	7			1 ⑧	2 ⑨	3 ⑨	4 ⑨	5
4	5 ①	6 ①	7 ①	8 ②	9 ②	10	8	9 ⑥	10 ⑤	11 ⑥	12 ⑦	13 ⑦	14	6	7 ⑨	8 ⑨	9 ⑩	10 ⑩	11 ⑩	12
11	12 ②	13 ②	14 ②	15 ③	16 ③	17	15	16 ⑦	17 ⑥	18 ⑦	19 ※	20 ※	21	13	14 ⑩	15 ⑩	16 ⑪	17 ⑪	18 ⑪	19
18	19 ③	20 ③	21 ③	22 ④	23 ④	24	22	23	24 ⑦	25 ⑧	26 ⑧	27 ⑧	28	20	21 ⑪	22 ⑪	23 ⑫	24 ⑫	25 ⑫	26
25	26 ④	27 ④	28 ④	29 ⑤	30 ⑤	31	29	30 ⑧						27	28 ⑫	29	30	31		
1月							2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
3	4	5 ⑫	6 ⑬	7 ⑬	8 ⑬	9	7	8	9	10	11	12	13	7	8	9	10	11	12	13
10	11	12 ⑬	13 ⑭	14 ⑭	15 ※	16	14	15	16	17	18	19	20	14	15	16	17	18	19	20
17	18 ⑬	19 ⑭	20	21	22 ⑭	23	21	22	23	24	25	26	27	21	22	23	24 卒業式	25	26	27
24	25 ⑭	26	27	28	29	30	28							28	29	30	31			
31																				

※ 11月19日(木)・20日(金)は、11月祭による授業休止日(11月祭:11/19～11/23、片付けを含む)
 ※ 1月15日(金)は、大学入学共通テスト設営のため授業休止日

専門科目の履修登録について

- ◆履修登録に際しては、各自の入学年度の履修要覧および「物理工学科担当専門科目一覧」で担当教員等の詳細を確認の上、登録すること。
- ◆2回生以上はガイダンスで配付された科目配当変更表、各コースからの指示事項にも注意すること。
- ◆履修登録のない科目は、試験を受けても単位は認定されません。登録クラスと異なるクラスで受験した場合も単位は認定されないのので、必ず各自の責任で登録および登録確認を行い、正しく登録しておくこと。確認の際は、担当教員も確認しておくこと。
- ◆科目内容等の詳細についてはシラバスを参照すること。
- ◆通年科目は、後期に履修登録の取り消しができないため、通年科目を履修する場合は、後期に履修予定の科目についても考慮しておくこと。

★履修登録に関する日程★

- * 時間割作成期間（候補科目設定）：4月2日(木)～4月16日(木)
- * 履修登録期間：4月17日(金)～4月20日(月)
- * 履修登録確認・修正期間：4月23日(木)～4月24日(金)
- * 履修取消期間：6月1日(月)～6月2日(火)

専門科目の履修登録に関する注意事項

- ◆履修登録の際は KULASIS だけでなく、必ず各自の入学年度の履修要覧・ガイダンス配付資料・掲示等も確認すること。
- ◆疑問があれば、物理工学科事務室又は各コース長に相談すること。
- ◆KULASIS 履修登録初期画面には、候補科目として各学年・コースに配当されている工学部専門科目が表示されている。表示されていない科目を履修する場合は、「物理工学科担当科目一覧」を参考に科目を検索して登録すること。

上回生科目の履修について

科目の履修にあたっては、各自の学年に配当されている科目を優先的に履修し、余裕がある場合に限り、上回生科目の履修を検討すること。

各科目は下位の学年に配当されている科目を履修しているという前提で開講されているため、上回生配当の科目を履修する場合、内容の理解が難しい場合もあるので注意すること。

特別履修手続きについて

特別履修手続きの必要な科目を履修する学生は、下記の通り手続きをすること。

	提出期限	備考
他学部 聴講願 (理学部・医学部の 科目履修を希望する 場合のみ)	4/9(木)	理学部・医学部以外の開講科目については、KULASIS から履修登録すること。 注) 他学部科目を卒業に必要な単位として認定を希望する場合は事前に別途手続きが必要です。詳細は物理工学科事務室に問い合わせること。
上回生科目 履修願	4/15(水)	要：担当教員の承認 (印 or サイン)
他学科科目 履修願	4/15(水)	開設学科及び物理工学科事務室の指示に従うこと

* 用紙は物理工学科事務室で配布します。備考欄にあるとおり、承認を得た上で、期限までに物理工学科事務室に提出すること。

* 願を提出した科目（他学部科目を除く）は、KULASIS 履修登録画面に候補科目として表示されるので、詳細を確認し、登録・確定すること。

* 上記の期限に提出が間に合わない場合は、事前に、物理工学科事務室まで連絡すること。

変更事項は掲示により周知するので、必ず、定期的に物理工学科掲示板を確認すること。

物理工学科配当専門科目一覧(令和2年度前期)

* 変更は掲示にて周知するので、必ず、定期的に物理工学科掲示版を確認すること

(1回生)

曜・時限	科目名	科目コード	担当教官名	講義室	受講すべき者
水・2	物理学総論B	5111000	全員	物216	7組・8組・9組(姓:あ~そ)
集中	工学序論	2108000	関係教員	物315	9組(姓:た~)・10組・11組・12組

(2回生)

曜・時限	科目名	科目コード	担当教官名	講義室	受講すべき者
月・2	原子核工学序論1	5150000	佐々木 匠か	物101	原子核
月・3	機械設計製作	5127000	松原(厚)・西脇	物313	機械システム学・工学応・宇宙基礎工学
火・1	計算機数学	5003100	林(潤)・峰谷	々南203	工学応
木・2	下記(注)参照	5003200	奥田	物216	材料科学
月・2		5003300	巽	物112	機械システム学 (7組9組,11組)
金・2		5003400	松原(厚)・河野・桜間	物216	機械システム学 (8組,10組,12組)
火・5		5003000	小林	物312	原子核
火・5	エレクトロニクス入門 (※1)	5300000	守倉	総合研究 8号館 NSホール	機械システム学 (宇宙,3回生配当)
火・5	電気回路基礎論	6063000	久門 [電気電子工学科]	電総大	宇宙基礎工学
水・1	材料力学1	5004000	北條	物313	機械システム学・宇宙基礎工学 (学生証番号末尾奇数)
		5004100	平方	物314	機械システム学・宇宙基礎工学 (学生証番号末尾偶数)
		5004200	今谷	物315	材料科学・工学応・原子核 (学生証番号末尾奇数)
		5004300	安部	物312	材料科学・工学応・原子核 (学生証番号末尾偶数)
金・1	熱力学1	5162000	中部・巽	物313	機械システム学・宇宙基礎 (学生証番号末尾奇数)
水・3		5162100	吉田(英)・岩井	物216	機械システム学・宇宙基礎 (学生証番号末尾偶数)
水・3		5162200	石原	物315	工学応・原子核
水・3	材料熱力学1	5163000	杉村	物216	材料科学
火・3	材料熱力学2	5164000	宇田	物314	材料科学
金・3	計測学	5009000		物313	機械システム学・工学応・原子核 (学生証番号末尾奇数)
		5009100	横川・土屋・木下・三宅	物315	機械システム学・工学応・原子核 (学生証番号末尾偶数)
金・3	物質科学基礎	5133000	邑瀬	物314	材料科学
通年集中	GLセンター1(企業調査研究)	2401000	関係教員 <GLセンター>	別途指示	機械システム学 (履修要項を確認すること)

(注) 演習室の定員が決まっていますので、受講クラスについては担当教員の指示に従ってください。

(※1) 機械:2回生配当、宇宙:3回生配当。KULASIS上では対象回生2回生以上となっているので注意すること。

「工学と経済」、「工学とエコロジー」は本年度より廃止となりました。

(3回生)(1/2)

曜・時限	科目名	科目コード	担当教員<担当コースまたは他学科の科目は開講学科名>	講義室	受講すべき者
水・2	工業力学A	2080000	西原・花崎<機械システム学>	物313	機械システム学・宇宙基礎工学
月・1		2080200	木下<工学応>	物314	工学応
月・1	Iカルギ-変換工学	5023100	河原・横峯 <原子核>	物212	原子核
金・2		5023000	石山<工学応> 中部<機械システム学>	物313	機械システム学・工学応
月・1	固体力学	5051000	理恵<宇宙基礎工学>	物213	宇宙基礎工学
月・1	設計工学1	5155000	小森(雅)・平山<機械システム学>	物313	機械システム学
月・2	熱及び物質移動	5037000	河合<材料科学>	物313	材料科学
		5037100	奥村・佐川<工学応>	物213	工学応
月・2	工業数学A2	2060000	中村(佳)・辻本(情報学科)	総合研究 8号館 NSホール	宇宙基礎工学
月・2	生物物理学	5096000	榎井・松本・高田・原田<原子核>	物212	原子核
月・3	Iカルギ-材料熱化学1	5118000	平藤・長谷川<工学応>	物315	材料科学・工学応
月・3		5025200	丸田<宇宙基礎工学>	物314	宇宙基礎工学
火・1	応用電磁気学	5013000	四籠<機械システム学>	物313	機械システム学・宇宙基礎工学 (学生証番号末尾奇数)
		5013100	鈴木<機械システム学>	物315	機械システム学・宇宙基礎工学 (学生証番号末尾偶数)
		5013200	斉藤<原子核>	物314	工学応・原子核
		2065000	加納・大塚<機械システム学>	物216	機械システム学 (学生証番号末尾奇数)
火・2	工業数学F2	2065100	瀬波<機械システム学>	物312	機械システム学 (学生証番号末尾偶数)
		2065200	一井・弓削<材料科学>	物313	材料科学
金・4		2065300	岸本・寺寺<工学応>	物216	工学応・原子核
火・2	Iカルギ-化学1	5139000	萩原<工学応>	物314	工学応・原子核
火・2	気体力学	5045000	高田<宇宙基礎工学>	物212	宇宙基礎工学
火・3	熱統計力学	5046000	江利口<宇宙基礎工学>	物212	宇宙基礎工学
火・3	構造物性学	5129000	野瀬・栗田<材料科学>	物216	材料科学
火・5	エレクトロニクス入門(※1)	5300000	守倉	総合研究 8号館 NSホール	宇宙基礎工学 (機械システム学,2回生配当)
水・4~5	機械システム工学実験1	5056000			機械システム学
木・4~5	機械システム工学実験2	5057000	土屋・中嶋・嶋田 他 <機械システム学>		
金・4~5	機械システム工学実験3	5058000			
月・金・4~5	機械設計演習1	5059000	横川・中嶋・金田 <機械システム学>	物312他	
火・木・4~5		5059100	四重・葉・山中 <機械システム学>	物312他	
水・金・4~5		5059200	松本(充)・透川・中務・栗谷・ 松井・山根<機械システム学>	物312他	機械システム学

(※1) 機械:2回生配当、宇宙:3回生配当。KULASIS上では対象回生2回生以上となっているので注意すること。

(3回生)(2/2)

曜・時限	科目名	科目コード	担当教員<担当コースまたは他学科の科目は関連学科名>	講義室	受講するべき者
月・4		5054000	石山 他<エネ応>	物213	エネ応
火・3~4	物理工学演習1	5054100	宮寺・小暮<原子核>	物101	原子核
木・3~4		5054200	高橋・足立・田中<宇宙基礎工学>	物213	宇宙基礎工学
火・1	固体電子論	5121000	黒川<材料科学>	物101	材料科学
水・1	材料電気化学	5102000	邑瀬・深見<材料科学>	物216	材料科学
水・1	加速器工学	5115000	土田<原子核>	物101	原子核
水・1	工業数学A3	2070000	矢ヶ崎[情報学科]	総合研究8号館 講義室2	宇宙基礎工学
水・2	放射線計測学	5174000	土田<原子核>	物101	原子核
水・2	材料基礎学2	5154000	奥村<エネ応>	物212	エネ応
水・水・3~4	材料科学実験および 工科大学工学設計 演習・実験1	5062000	戸削 他<材料科学>	物112他	材料科学
水・水・3~4		5157000	奥村 他<エネ応>	物101他	エネ応
木・1~4	原子核工学実験1	5158000	田崎 他<原子核>	物212	原子核
木・1	制御工学1(*2)	5025000	松野・遠藤<機械システム学>	物313	機械システム学・エネ応 (学生証番号末尾奇数) (原子核:4回生配当) 機械システム学・エネ応 (学生証番号末尾偶数)
木・2	流体力学2	5143000	花崎<機械システム学>	物313	機械システム学
木・2	量子凝縮材料学1	5143100	大塚・桜間<機械システム学>	物314	エネ応・宇宙基礎工学
金・1	結晶物性学	5165000	田中(功)<材料科学>	物216	材料科学
金・1	原子炉物理学	5035000	乾・岸田<材料科学>	物312	材料科学・エネ応
金・1	材料基礎学1(*3)	5203000	神野<原子核>	物212	原子核
金・1	材料基礎学1(*3)	5008000	富田<機械システム学>	物315	機械システム学・宇宙基礎工学 (学生証番号末尾奇数)
金・2	量子物理学1	5008100	平方・嶋田<機械システム学>	物314	機械システム学・宇宙基礎工学 (学生証番号末尾偶数)
金・3	連続体力学	5018200	宮寺<原子核>	物315	材料科学・原子核・ 宇宙基礎工学
金・3	統計力学	5020000	今谷 <エネ応>	物312	エネ応
金・3~4	航空宇宙工学実験1	5130000	田崎<原子核>	物101	原子核
		5068000	コース長他<宇宙基礎工学>	物213他	宇宙基礎工学

(*2)機械・エネ応:3回生配当,原子核:4回生配当,KULASIS上では対象回生3回生以上となっているので注意すること。

(*3)エネルギー応用・原子核向けの「材料基礎学1」は後期開講。

(4回生)

曜・時限	科目名	科目コード	担当教員<担当コースまたは他学科の科目は関連学科名>	講義室	受講するべき者
月・1	統計熱力学	5073000	松本(充)<機械システム学>	物112	機械システム学
月・3~4	原子炉基礎演習・実験	5107000	三澤・宇根崎・中島・牛<原子核>	物101	原子核
火・1	精密加工学	5099000	松原(厚)・河野	桂・講義室1	機械システム学
火・2	固体物理学	5071000	中嶋<機械システム学>	桂・講義室2	機械システム学
火・3~4	航空宇宙工学演習 (注)事前許可科目	5145000	<宇宙基礎工学>	桂	宇宙基礎工学
水・1	量子物理学2	5019000	蓮尾<機械システム学>	物212	機械システム学
水・2	知能システム工学	5171000	植木・中西<機械システム学>	物314	機械システム学
水・4	品質管理	5087000	西脇・泉井<機械システム学>	桂・講義室3	機械システム学
木・1	制御工学1(*2)	5025000	松野・遠藤<機械システム学>	物313	原子核 (学生証番号末尾奇数) (機械・エネ応:3回生配当)
		5025100	杉江・大塚<機械システム学>	物315	原子核 (学生証番号末尾偶数) (機械・エネ応:3回生配当)
木・2	材料強度学	5161000	澁川<機械システム学>	吉田・物315 桂・講義室4	機械システム学
木・2	核物理基礎論	5114000	宮寺・小暮<原子核>	物213	原子核
木・3	工学倫理	2105000	関係教員	総合研究 8号館 NSホール	全コース
木・4	数理解析	9118000	吉川(仁)[情報学科]	総合研究 8号館 講義室4	宇宙基礎工学
金・1	マイクロ加工学	5144000	横川・土屋<機械システム学>	桂・講義室3	機械システム学・ エネ応
特別履修	物理工学英語(原子核)	5125300	小林 他<原子核工学>		原子核
夏期集中	マイクロ材料の加工・評価の基礎(*4)	5170000	土屋・鈴木・横川		機械システム学
	特別研究1 (注)事前許可科目	5995000	機械システム学		機械システム学
		5995100	材料科学		材料科学
		5995200	エネルギー応用工学		エネ応
		5995201	原子核工学		原子核
		5995300	宇宙基礎工学		宇宙基礎工学

(*2)機械・エネ応:3回生配当,原子核:4回生配当,KULASIS上では対象回生3回生以上となっているので注意すること。

(*4)後期に履修登録すること。事前登録の方法は、後日揭示するので注意すること。

物理工学英語(エネ応)は本年度より廃止となりました。

【重要！(注)事前許可科目

「航空宇宙工学演習」、「特別研究1」は事前許可科目として履修対象者のみ候補科目として

KULASIS履修登録の初期画面に表示されているので、履修予定者は、必ず履修登録しておくこと。履修予定に

かかわらず表示されていない場合は、物理工学科事務室まで申し出ること。

なお、履修に際して下記のような指示事項があるので、注意すること。

☆ 宇宙基礎工学コースで研究室配属された者は、上記に加え、「航空宇宙工学演習」を履修登録すること。

物理工学科配当専門科目一覽(令和2年度後期)

* 変更は揭示にて周知するので、必ず、定期的に物理工学科揭示板を確認すること

(1回生)

曜・時限	科目名	科目コード	担当教員名	講義室	受講するべき者
水・2	物理工学総論A	5110000	全員	物216	7組・8組・9組(姓:あ~そ)
		5110100	全員	物315	9組(姓:た~)、10組・11組・12組

(2回生)

曜・時限	科目名	科目コード	担当教員	講義室	対象コース等
月・2	原子核工学序論2	5151000	佐々木 他	物101	原子核
火・1	熱力学2	5007000	中部・巽	物315	機械システム学・宇宙基礎 (学生証番号末尾 奇数)
金・1		5007100	吉田(英)・岩井	物314	機械システム学・宇宙基礎 (学生証番号末尾 偶数)
火・2	流体力学1	5007200	石山	物315	工ネ応・原子核
		5142000	黒瀬	物313	機械システム学
火・2	材料統計物理学	5142100	大和田・杉元	物216	工ネ応・原子核・宇宙基礎
		5134000	田畑(吉)・弓削	物312	材料科学
火・3	工業数学F1	2055000	西川	物313	機械・材料・工ネ応・原子核 (学生証番号末尾 奇数)
水・1		2055100	前川	物315	機械・材料・工ネ応・原子核 (学生証番号末尾 偶数)
水・1	材料科学基礎1	5008200	高木	物312	工ネ応・原子核
		5135000	岸田・野瀬	物314	材料科学
木・1	固体物理学	5024100	青井・泉田	物112	宇宙基礎
		5012000	中村	物315	材料科学・工ネ応・原子核・ 宇宙基礎
木・2	工業数学A1	5136000	柴田・深見・一井	物315	材料科学・工ネ応
金・1		5172200	柴山 [開設:情報学科]	物313	宇宙基礎
金・2	材料力学2	5005000	豊浦	物314	材料科学
		5005100	西川	物216	機械システム学 (7・8・9・10組)
金・3	原子物理学	5005200	琵琶	物312	機械システム学(11・12組)・ 宇宙基礎
		5014000	木下	物315	材料科学・工ネ応・原子核
後期集中 十水・5	機械製作実習 GL7セミナーⅡ(課題解決演習)	5061000	神野・間嶋	物313	材料科学・工ネ応・原子核・ 宇宙基礎
		2501000	松原 他	物313他 (別途指示)	機械システム学

※1 機械システム学・宇宙基礎向けの「材料基礎学1」は前期配当。

(3回生)(1/2)

曜・時限	科目名	科目コード	担当教員	講義室	受講するべき者
月・1	推進基礎論	5048000	江利口<宇宙基礎工学>	物101	宇宙基礎工学
月・1	材料組織学	5173000	安田<材料科学>	物314	材料科学
月・1	放射化学	5116000	佐々木・小林<原子核>	物212	工ネ応・原子核
月・2	エネルギー・材料熱化学2	5119000	平藤・長谷川<工ネ応>	物313	材料科学・工ネ応
月・2	流体熱工学	5152000	横峯<原子核>	物212	原子核
月・2	航空宇宙機力学	5049000	泉田・青井<宇宙基礎工学>	物213	宇宙基礎工学
月・3	高分子材料概論	5200000	澤本<材料科学>	物101	材料科学
月・1~4	機械設計演習2	5060000	小森・平山・河野・ 中西・金田<機械システム学>	物315他	機械システム学
月・4~5		5056100	土屋・中嶋・嶋田 他 <機械システム学>	別途指示	機械システム学
木・1~2	機械システム工学実験2	5057100		別途指示	機械システム学
木・4~5		5058100		別途指示	機械システム学
火・1	量子物理学2	5019200	宮寺<原子核>	物313	材料科学・原子核・ 宇宙基礎工学
火・2	物理学演習2	5055000	松本(一)<工ネ応>	物212	工ネ応
火・4~5		5055100	横峯・小暮・他<原子核>	物101	原子核
金・3~4	設計学2	5055200	八木<宇宙基礎工学>	物213	宇宙基礎工学
火・2		5156000	松原・西脇・小森 <機械システム学>	物315	機械システム学
火・2	量子無機材料学2	5166000	世古<材料科学>	物314	材料科学
火・2	プラスチック物理学	5040000	村上<原子核>	物101	原子核・宇宙基礎工学
火・3~4	統計熱力学	5067000	コース長他<宇宙基礎工学>	物213他	宇宙基礎工学
火・3		5073100	三宅<工ネ応>	物216	材料科学・工ネ応
火・3	中性子理工学	5141000	田崎<原子核>	物212	原子核
火・3	連続体力学	5020100	安達<機械システム学>	物312	機械システム学
水・1	システム工学	5128100	川那辺<工ネ応>	物101	工ネ応・原子核
水・1	振動工学	5024000	松原・小森・中西<機械システム学>	物313	機械システム学
水・2	材料分析化学	5120000	河合<材料科学>	物101	材料科学
水・2	生産工学	5030000	泉井<機械システム学>	物313	機械システム学
水・2	材料物理学化学	5036000	高木・小林<原子核>	物213	原子核
		5036100	平藤<工ネ応>	物314	工ネ応

(3回生)(2/2)

曜・時限	科目名	科目コード	担当教員<担当コースまたは他学科の科目は閉講学科名>	講義室	受講するべき者
水・3	制御工学2	5027000	松野・遠藤<機械システム学>	物315	機械システム学
水・3	数値解析	9025200	吉川(仁) [情報学科]	物313	宇宙基礎工学
水木・3~4	材料科学実験 および演習2	5063000	弓削 他<材料科学>	物112他	材料科学
水木・3~4	エネルギー応用工学 設計演習・実験2	5159000	奥村 他<エネ応>	物101他	エネ応
木・1~4	原子核工学実験2	5160000	田崎 他<原子核>	物212	原子核
木・2	金属材料学	5069000	辻<材料科学>	物312	材料科学
木・2	制御工学2	5027100	藤本<宇宙基礎工学>	物213	宇宙基礎工学
金・1	伝熱工学	5153000	岩井(裕)・異<機械システム学>	物313	機械システム学
金・1	材料強度物性	5070000	乾<材料科学>	物216	材料科学
金・1	量子物性基礎論	5148000	松尾・瀬木<原子核>	物101	原子核
金・2	工業数学F3	2075000	井上<機械システム学>	物313	機械システム学・ 原子核
金・2	空気力学	5047000	高田<宇宙基礎工学>	物213	宇宙基礎工学
金・2	結晶回折学	5233000	奥田<材料科学>	物216	材料科学
金・3	量子反応基礎論	5041000	斉藤<原子核>	物101	原子核
金・3	固体物性論	5147000	中村・田畑(吉)<材料科学>	物216	材料科学・エネ応
金・3	量子物理学1	5018000	鈴木<機械システム学>	物315	機械システム学 (学籍番号末尾奇数)
金・3	量子物理学2	5018100	中嶋<機械システム学>	物314	機械システム学 (学籍番号末尾偶数)
金・4	エネルギー化学2	5140000	松本(一)<エネ応>	物312	エネ応・原子核
その他	インターンシップ	5124000	蓮尾・黒瀬<機械システム学>		機械システム学
	機械システム学セミナー	5124100	小暮 他<原子核>		原子核
	機械システム学セミナー	5169000	横川 他<機械システム学>	(別途指示)	機械システム学

(4回生)

曜・時限	科目名	科目コード	担当教員<担当コース>	講義室	受講するべき者
夏期集中	マイクロ材料の加工・評価の基礎※2	5170000	土屋・鈴木・横川		機械システム学
特別履修	特別研究2 *事前許可科目	5998000	機械システム学		機械システム学
		5998100	材料科学		材料科学
		5998200	エネルギー応用工学		エネ応
		5998201	原子核工学		原子核
		5998300	宇宙基礎工学		宇宙基礎工学

※2 夏期集中講義で、後期に履修登録する必要があります。

<重要！>

「特別研究2」は事前許可科目として、履修対象者のみKULASIS初期画面に表示されているので、履修予定者は必ず履修登録しておくこと。履修予定にもかかわらず表示されていない場合は、物理工学科事務室まで申し出ること。

後期科目の履修登録期間等の詳細は後日掲示します。

令和2年度 科目配当変更表

令和2年度 変更なし

平成31年度 変更

旧科目	新科目	変更事項	履修上の注意
量子線計測学 (原子核工学コース開講クラス)	放射線計測学	科目名変更	平成31年度より変更 旧科目を履修済みの場合は、新科目を履修しても卒業に必要な単位とはならない
理工学英語 (エネルギー応用コース開講クラス)		科目の廃止	平成31年度より廃止

平成30年度 変更

旧科目	新科目	変更事項	履修上の注意
理工学英語 (材料科学コース開講クラス)		科目の廃止	平成33年度より廃止
振動工学(宇宙基礎工学コース開講クラス)		配当学年・配当期変更 (3回生前期→2回生後期)	平成30年度より変更
制御工学1(宇宙基礎工学コース開講クラス)		配当期変更 (後期→前期)	平成30年度より変更
制御工学2(宇宙基礎工学コース開講クラス)		新設	平成30年度より開講

平成29年度 変更

旧科目	新科目	変更事項	履修上の注意
理工学英語(機械システム学コース開講クラスのみ)		科目の廃止	平成31年度より廃止
材料組織学1	材料科学基礎3	科目名変更 配当学年・配当期変更 (3回生前期→2回生後期)	平成29年度より変更 旧科目を履修済みの場合は、新科目を履修しても卒業に必要な単位とはならない (平成29年度に限り、前期に3回生配当科目として開講し、後期にも2回生配当科目として開講する)
材料組織学2	材料組織学	科目名変更	平成29年度より変更 旧科目を履修済みの場合は、新科目を履修しても卒業に必要な単位とはならない
材料熱力学2		配当期変更 (2回生後期→2回生前期)	平成29年度より変更
理工学英語(材料科学コース開講クラスのみ)		配当学年変更 (4回生前期→3回生前期)	平成29年度より変更
材料プロセス工学		科目の廃止	平成31年度より廃止

平成28年度 変更

旧科目	新科目	変更事項	履修上の注意
生命科学概論Ⅰ		科目の廃止	
生命科学概論Ⅱ		科目の廃止	
	生物・生命科学入門	新規科目	
人工知能基礎		科目の廃止	
システム工学(機械システム学コース教員開講クラスのみ)		科目の廃止	
	知能システム工学	新規科目	
有限要素法の基礎と演習		科目の廃止	
微分積分学A【4単位】	微分積分学(講義・演義)A【3単位】	科目改編 (科目名及び単位数変更)	平成27年度以前入学者は、旧科目を修得することを推奨する。 (H28年度のみ、旧科目の再履修クラスの開講あり) 平成27年度以前入学者が新科目を修得した場合、旧科目を修得していない場合に限り、新科目に記載された単位数で卒業に必要な単位として認める。
微分積分学B【4単位】	微分積分学(講義・演義)B【3単位】		
線形代数学A【2単位】	線形代数学(講義・演義)A【3単位】		
線形代数学B【2単位】	線形代数学(講義・演義)B【3単位】		
情報基礎演習(工学部)		単位数変更	28年度以降入学者は2単位とする 27年度以前入学者は1単位とする

平成27年度 変更

旧科目	新科目	変更事項	履修上の注意
電気回路と微分方程式		科目の廃止	平成27年度より変更 変更平成26年度以前に「電気回路と微分方程式」を履修済みの場合は、「電気回路基礎論」を履修しても卒業に必要な単位とはならない
	電気回路基礎論	科目の追加	
信頼性工学		科目の廃止	
薄膜材料学		科目の廃止	
基礎有機化学A	基礎有機化学Ⅰ	科目名変更	旧科目を修得済みの場合は、新科目を修得しても卒業に必要な単位とはならない
基礎有機化学B	基礎有機化学Ⅱ	科目名変更	旧科目を修得済みの場合は、新科目を修得しても卒業に必要な単位とはならない

平成26年度 変更

旧科目	新科目	変更事項	履修上の注意
基礎物理化学A	基礎物理化学(熱力学)	科目名変更	旧科目を修得済みの場合は、新科目を修得しても卒業に必要な単位とはならない
基礎物理化学B	基礎物理化学(量子論)	科目名変更	旧科目を修得済みの場合は、新科目を修得しても卒業に必要な単位とはならない
機械システム学演習	機械システム学セミナー	科目名変更 単位数変更	平成26年度より変更 平成23年度以前入学者は「機械システム学演習」を、 平成24年度以降入学者は、「機械システム学セミナー」を履修すること 旧科目を履修済みの場合は、新科目を履修しても卒業に必要な単位とはならない
材料基礎学2	材料基礎学2 材料強度学	科目の分割	平成26年度より変更 平成25年度以前に「材料基礎学2」を履修済みの場合は、 新科目を履修しても卒業に必要な単位とはならない
統計熱力学		配当期変更	平成26年度より変更 変更は機械システム学コースのみ
精密加工学		配当期変更	平成26年度より変更

平成25年度 変更

旧科目	新科目	変更事項	履修上の注意
微分積分学統論A	微分積分学統論 I	科目名変更	旧科目を修得済みの場合は、新科目を修得しても卒業に必要な単位とはならない
微分積分学統論B	微分積分学統論 II	科目名変更	旧科目を修得済みの場合は、新科目を修得しても卒業に必要な単位とはならない
生命科学概論A	生命科学概論 I	科目の分割 科目名変更	理工学学科では、「生命科学概論 I」をB群科目として認定する。 旧科目を修得済みの場合は、新科目を修得しても卒業に必要な単位とはならない
	生命科学概論 III 植物自然史 I		
生命科学概論B	生命科学概論 II	科目の分割 科目名変更	理工学学科では、「生命科学概論 II」をB群科目として認定する。 旧科目を修得済みの場合は、新科目を修得しても卒業に必要な単位とはならない
	生命科学概論 IV		
基礎情報処理	情報基礎(工学部)	科目名変更	平成25年度より、全学共通科目(現代社会適応科目)に変更。 旧科目を履修済みの場合は、新科目を履修しても卒業に必要な単位とはならない
基礎情報処理演習	情報基礎演習(工学部)	科目名変更	平成25年度より、全学共通科目(現代社会適応科目)に変更。 旧科目を履修済みの場合は、新科目を履修しても卒業に必要な単位とはならない
機械要素学	設計工学1	科目名変更	平成25年度より変更 旧科目を履修済みの場合は、新科目を履修しても卒業に必要な単位とはならない
設計工学	設計工学2	科目名変更	平成25年度より変更 旧科目を履修済みの場合は、新科目を履修しても卒業に必要な単位とはならない
材料組織学	材料組織学1	科目名変更	平成25年度より変更 旧科目を履修済みの場合は、新科目を履修しても卒業に必要な単位とはならない
材料機能学	材料組織学2	科目名変更	平成25年度より変更 旧科目を履修済みの場合は、新科目を履修しても卒業に必要な単位とはならない
連続体力学		配当期変更	平成25年度より変更 変更は機械システム学コースのみ
材料基礎学1		配当期変更	平成25年度より変更 変更は機械システム学コースおよび宇宙基礎工学コースのみ
エネルギー理工学設計演習・実験1	エネルギー応用工学設計演習・実験1	科目の分割	平成25年度より変更
	原子核工学実験1		旧科目を履修済みの場合は、新科目を履修しても卒業に必要な単位とはならない
エネルギー理工学設計演習・実験2	エネルギー応用工学設計演習・実験2	科目の分割	平成25年度より変更
	原子核工学実験2		旧科目を履修済みの場合は、新科目を履修しても卒業に必要な単位とはならない

平成24年度 変更

旧科目	新科目	変更事項	履修上の注意
熱力学1	熱力学1	科目の分割	平成24年度より変更 旧科目を履修済みの場合は、新科目を履修しても卒業に必要な単位とはならない
	材料熱力学1		
化学熱力学基礎	材料熱力学2	科目名変更	平成24年度より変更 旧科目を履修済みの場合は、新科目を履修しても卒業に必要な単位とはならない
量子無機材料学	量子無機材料学1	科目名変更	平成24年度より変更 旧科目を履修済みの場合は、新科目を履修しても卒業に必要な単位とはならない
材料量子化学	量子無機材料学2	科目名変更	平成24年度より変更 旧科目を履修済みの場合は、新科目を履修しても卒業に必要な単位とはならない
制御工学1		配当期変更	平成24年度より変更 変更は原子核工学コースのみ
材料物理化学		配当期変更	平成24年度より変更 変更は原子核工学コースのみ

平成23年度 変更

旧科目	新科目	変更事項	履修上の注意
	工学序論	科目の追加	平成22年度以前入学者が履修しても卒業に必要な単位とはならない。平成23年度以降入学者はコースにより取り扱いが異なるので、履修要覧で確認すること。
	科学技術英語演習	科目の追加	
	工学とエコロジー	科目の追加	
	工学と経済	科目の追加	
	GLセミナー I	科目の追加	
	GLセミナー II	科目の追加	
流体熱工学	流体熱工学 伝熱工学	科目の分割	平成22年度以前に「流体熱工学」を履修済みの場合は新科目を履修しても卒業に必要な単位とはならない
材料基礎学2	材料基礎学2	科目の分割	平成26年度より変更 平成25年度以前に「材料基礎学2」を履修済みの場合は新科目を履修しても卒業に必要な単位とはならない
	材料強度学		
機械要素学	設計工学1	科目名変更	平成25年度より変更 旧科目を履修済みの場合は、新科目を履修しても卒業に必要な単位とはならない
設計工学	設計工学2	科目名変更	平成25年度より変更 旧科目を履修済みの場合は、新科目を履修しても卒業に必要な単位とはならない
統計熱力学		配当期変更	平成26年度より変更 変更は機械システム学コースのみ
連続体力学		配当期変更	平成25年度より変更 変更は機械システム学コースのみ
材料基礎学1		配当期変更	平成25年度より変更 変更は機械システム学コースおよび宇宙基礎工学コースのみ
精密加工学		配当期変更	平成26年度より変更
理工学英語		配当期変更	平成23年度入学者より変更 変更は機械システム学コースのみ
エネルギー理工学設計演習・実験1	エネルギー応用工学設計演習・実験1	科目の分割	平成25年度より変更 旧科目を履修済みの場合は、新科目を履修しても卒業に必要な単位とはならない
	原子核工学実験1		
エネルギー理工学設計演習・実験2	エネルギー応用工学設計演習・実験2	科目の分割	平成25年度より変更 旧科目を履修済みの場合は、新科目を履修しても卒業に必要な単位とはならない
	原子核工学実験2		

平成22年度 変更なし

情報セキュリティ対策のお願い(1) ウイルス、マルウェア対策

- 工学部／工学研究科において多発しているセキュリティ事故と、その主な経路
 - マルウェア感染(最多)
 - 信頼できないダウンロードサイト、メールリンクによる誘導
 - ID・パスワード盗用
 - 脆弱なパスワードの使用、フィッシングメール
 - P2Pソフトの利用 → 次スライド
- 自宅等、学外にてご利用のPCについても
 - OS、ソフトウェアの定期的なアップデート
 - ウイルス対策ソフトウェアの導入を行うことを強く勧めます。
※ウイルス対策ソフトウェアについては、一部のソフトウェア会社が家庭内・非商用での利用目的に限定した無料版を提供しています

情報セキュリティ対策のお願い(2) 著作権保護、P2Pファイル交換ソフトウェアについて

- 特別な理由がない限り、学内ネットワーク(KUJINS)においてP2Pファイル交換ソフトの利用は禁止されています。
自宅P2Pソフトウェアを起動したPCを、学内ネットワークに接続することで、規程違反に問われるケースが報告されています。
- 電子ジャーナルをはじめとする資料は個人利用の範疇で利用し、複製や再配布は行わないでください。
- 著作権を侵害していると思われるコンテンツ(いわゆる「海賊版」)を利用しないでください。
学外でのPC利用においても、京都大学の構成員、並びに社会人として節度ある行動を願います。

情報セキュリティ対策のお願い(3) e-Learning の受講

「京都大学情報セキュリティ e-Learning」を受講してください

- 大学が提供する
 - 教育用計算機システム
 - 電子ジャーナル、データベース
 - 電子メール等を利用する上で、最低限知っておくべき内容です
- 受講方法

<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ismo/e-Learning/>

にアクセスしてください。
(情報環境機構のページからもたどれます)
ECS-ID により受講者の確認をします



左の2次元バーコードを読み取ることでアクセスできます。

本日の受講を推奨します。

※未受講者の方は**大学ネットワーク接続に制限**がかかります。
れる予定です。また**個別にご連絡**することがあります。

<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ismo/e-Learning/>

Information Security Measures (1) Virus and malware protection

- Security incidents occurring in the Graduate School of Engineering and Faculty of Engineering and the causes.
 - **Malware attack** (most common)
 - Download from untrustworthy website, link in e-mail
 - Password/ID theft
 - Weak password, phishing
 - Use of P2P file sharing software
- On your computers off-campus, e.g., in your home
 - Regularly **update OS and applications software**.
 - Install **anti-virus software**.
Several anti-virus vendors offer their products free of charge (only for non-commercial, personal home use).

Information Security Measures (3) e-Learning

Take e-Learning courses on information security

- Kyoto University offers various information services:
 - Educational Computer System
 - E-Journals, Databases
 - E-mail
- You can learn the basic security knowledge that is required to use these services.
 - <http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/en/services/ismo/e-Learning/>
(There is a link on the homepage of the Institute for Information Management and Communication.)
- Your ECS ID is required to take these courses.

Information Security Measures (2) Copyright protection, P2P file sharing software

- **P2P file sharing software is prohibited on the campus network (KUINS)**, unless there is a special reason.
There have been regular cases of people charged with violation of the regulation, because he/she launched a P2P program on his/her laptop in their home and then connected it to the campus network.
- E-resources, such as e-journals, may only be used for private purposes. Any Reproduction and/or distribution are strictly prohibited.
- **Do not use any infringing product (known as pirated copy).**
You should conduct yourself in a sensible manner as a member of Kyoto University and society, even off-campus.



You can access the web page via the left matrix barcode.

Take these courses today.

※If you have not taken the courses, **network access on campus will be restricted.** (You may be asked to explain the circumstances.)

<http://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/en/services/ismo/e-Learning/>

コンピュータソフトウェアの適正な使用について

コンピュータソフトウェアを不正に使用すると、**著作権法違反として、使用者本人や大学が法的責任を問われる可能性があります。**

以下の事項に留意して、ソフトウェアは適正に使用してください。

✓ソフトウェアは、正規品を正しい流通経路

（正規販売代理店、メーカー直販等）で入手し、WEB等より海賊版ソフトウェアを入手しない。

✓クラックツール（ソフトウェアの仕組みを不正に改変するツール）を入手しない。

✓ソフトウェアは、「使用許諾契約書」に則って適正に使用し、不正コピーや不正な改変は行わない。



近年、著作権法の取締りが厳格化されています。不正に使用した結果、高額な賠償金や刑事罰などの厳しい罰則を課せられる可能性があります。

ソフトウェアの不正使用は絶対にやめてください！

To all faculty and staff members,

Institute for Information Management & Communication
Information Infrastructure Division

The proper use of computer software/application

If computer software is illegally used, it is a violation of the copyright law, there is a possibility that the user himself or the university may be subject to legal liability.

Please check the items below and use the computer software properly.

- ✓The computer software should be acquired as a genuine item through proper distribution routes (Authorized distributors, directly from the company producing it etc.). Pirated software should not be bought or used.
- ✓Crack tools (tools used to illegally modify the software) should not be bought or used.
- ✓ The computer software should be properly used according to the “License Agreement”. Illegal copying and unauthorized modifications should not be made.



Recently, the copyright law related control measures got very strict. As a result of the illegal use, severe punishments such as criminal punishments or high compensatory damages can be imposed.

You must refrain from using software illegally !

工学部・工学研究科 吉田保健室

工学部の学生と工学研究科・情報学研究科の大学院生を対象に、『漠然とした不安がある』『なんとなくやる気が出ない』『よくわからないけど、調子が悪い』といった、ちょっとした悩みや、不安・不調を感じたときに、気軽に相談ができる吉田保健室を開室しています。場所は、吉田キャンパスの工学部物理系校舎（=物理棟）北棟5階です。

保健室には、養護教諭資格を持った専門スタッフが常駐しており、相談に応じる他、必要に応じて、学内外の専門窓口との橋渡しもいたします。

カウンセリングルーム等の相談機関や医療機関を受診するのは面倒、あるいは抵抗があるというような場合には、遠慮なく気軽に訪ねてください。相談者のプライバシーは保護いたします。

開室時間：月－金 10：00－17：00（13：00－14：00休室）

物理棟 北棟5階

保健室

501 講義室	階段	エレベーター	502	503	504			WC	505	506	507
			516	515	514	513	512	511	510	エレベーター	509
			階段								

注) 物理棟の北棟と南棟は、1階から3階までしか繋がっていません

学内の相談窓口には、以下もあります。

保健診療所：本部構内、正門の西、カンフォーラの奥
医師、看護師などが常駐し、月曜日から金曜日まで毎日、内科および神経科の診療を行う。ネットで診療日程表を確認のうえ、直接来所。



カウンセリングルーム：本部図書館の南
人間関係など学生生活上の様々な悩みの相談。月曜日から金曜日まで毎日。直接来室するか、電話や電子メールで申し込む。



工学部学生相談室：工学部物理系校舎1階
授業や研究に関すること、人間関係や生活に関することなどの相談。月曜日から金曜日まで毎日。直接来室するか、電話や電子メールで申し込む。

